

透析患者において脳血管障害は、一般住民より発症リスクが高く、いったん発症するとADLやQOLを大きく損なう可能性が大きいので、その予防・対策はきわめて重要です。近年、血栓溶解療法や血管内治療など脳卒中の急性期の治療は急速に進歩していますが、残念ながら透析患者では合併症や血管石灰化などにより適応とならないことが多く、その恩恵にあずかることができないでいます。その結果、透析患者での経験や成績などに関する報告はほとんどされておらず、エビデンスが乏しい状況が続いています。

そこで本特集では、透析患者における脳卒中診療の全般について重要な項目について項立てし、とくに、診断や急性期治療については脳卒中専門

医に執筆を依頼しました。まだエビデンスの少ないところが多くはありますが、本特集が皆様の日常診療の一助となれば幸いに存じます。

現在、世界的に新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いています。透析患者においてはクラスターの発生や疾患の重症化が心配されていましたが、わが国ではクラスター化は起こっておらず、各透析施設が感染防止を徹底していることの成果が表れているものと思われます。緊急事態宣言による外出や営業の自粛が功を奏して終息しつつありますが、第二波、第三波が来ることも予想されています。ワクチンや治療薬の開発により、完全に終息する日がくることを祈るばかりです。

(鶴屋 和彦)

2020年(Vol. 36)特集のご案内

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| No.① 透析患者の感覚器障害 | No.⑤ 近未来の透析医療 |
| No.② 透析液・透析関連排水の諸問題 | No.⑥ 透析患者の脳血管障害 |
| No.③ 腎代替療法と Shared Decision Making | No. 7 血液浄化機器 2020 [増刊号] |
| No.④ 世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療 | No. 8 透析患者 PAD の最新線 |

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.6

© 2020 年 6 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541